平成29年度入試 個別学力試験問題 総合問題(出題意図) 《後期日程:法文学部法経学科》

読解力・表現力などの国語力と、統計図表などの分析力および論理的思考力を評価するための問題である。

第1問は、長文を読ませ、国語力をみる問題である。今回は、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)について、日本の労働者の働き方が今後どうあるべきか、ということを述べた文章を示し、漢字力・読解力・文章要約力・論理的思考力を問いかけた。

第2問および第3問は、統計表を分析する問題である。第2問は、日本の正規雇用者と非正規雇用者の転換状況を示す表と、外国人の雇用状況の年次推移を示す表を題材とした。また第3問は、日本の道路交通事故発生状況の推移を示す表と、2015年に生じた交通事故の状態別、年齢層別死者数を示す表を題材とした。いずれも、統計表をみることで、分析力・論理的思考力、および文章記述力をみる問題である。